



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

平成 30 年 4 月 27 日 (金) No. 2
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

「つなぐ」・「つながる」をキーワードに

校長 新井 篤志

新年度が始まり 1 か月が過ぎようとしています。子どもたちもそれぞれ進級した学年・学級に慣れてきたようです。1 年生も活発に活動している様子がみられうれしく思います。

4 月 19 日 (木) には、本校と下野庭小学校、丸山台中学校の 3 校合同で引き取り訓練を行いました。保護者の皆様にご協力いただき全児童を引き渡すことができました。防災への意識の高さに感謝いたします。こうした避難訓練を中学校ブロックで小・中学校がいっしょになって取り組んでいるのは横浜市内をみてもほとんどないと思います。実際に自然災害が起きた時には、きょうだい関係がいる家庭などは小学校だけの対応では不十分といえます。それだけに校種を越えた連携が大切になります。丸山台中ブロックでは、小中のつながりを深めるために防災以外にも教員同士の授業参観や研修を年間を通して行っています。また、子どもたちも授業や部活動の体験、図書委員会が行っているビブリオバトルなど中学生と関わる機会を様々設けています。小中 9 年間の教育のつながりをこれからも充実させていきます。

合わせて今年から、幼稚園・保育園とのつながりも強めていこうと考えています。横浜市の幼保小推進地区事業に本校は参加し、特に今年度は丸山台保育園と教職員同士の交流を図り、それぞれが保育や教育の充実に生かそうと取り組んでいきます。1 年生と近隣の幼稚園児や保育園児との交流は今までにも取り組んできました。しかし、教職員の交流をふりかえってみると、低学年の先生や年長を担当する先生に限られている傾向がありました。子どもたちとかかわる上では、自分が担任している子どもたちだけでなく、その前やその先の子どもたちはどのような姿なのかを知ることは、今かかわっている子どもたちへの接し方を考えるきっかけになると思います。さらに、就学前の子どもたちと小学生を通してみていくと、子どもがいかに大きく成長していくのかを実感できると考えます。長い目で子どもを見ていくことが先生にとってよい意味でのゆとりが生まれると期待しています。

子どもたちは地域で暮らし、成長していきます。幼稚園、保育園、小学校、中学校はまさに子どもたちの成長を地域で支える場所でもあります。そして、互いがどのような教育を行っているのかを理解し、連携していくことは人とのつながりがあってはじめてできるものです。コミュニケーションが大切と言われる時代です。「つなぐ」「つながる」をキーワードに就学前の子どもたちから中学生までがつながる取組を目指していきたいと考えます。

今月号の中面に平成 28 年度から 30 年度の中期学校経営方針と今年度の具体的な取組についてお知らせいたします。5 月 21 日に予定されている学校説明会 (終了後引き続き PTA 総会) でも、今年度の具体的な取組についてご説明します。